

長野県産業廃棄物実態調査票(その1)

医療関係

【記入上の注意】

長野県登録統計
第16025号

調査票番号

区分	地域	業種	階

↑この欄は入力しないでください

※ 本調査は、県内で発生する産業廃棄物の処理状況等を把握するため
に行う調査です。

※ 調査関係者は調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に
使用することを強く禁じられていますので、ありのままをご記入ください。

※ 記入方法に関するお問い合わせは、長野県の委託を受けた株式会
社グリーンエコ(TEL:0120-380-373)までお願いします。

※ ご記入していただいた内容についてお問い合わせする場合がございます
ので、必ず本調査票の控えを取っておいてください。

まず、事業所の概要について記入してください。

※本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して、以下の質問にお答えください。
※そのため、調査票が送付された事業所から離れた場所に本院や分院があっても、それらは調査の対象とはな
りません。

事業 所 の 概 要	事業所名		記 入 者	部課	
	所在地			ふりがな 氏名	
	代表者 氏 名			TEL	
	主な診療 科目	(内科、外科、眼科等の別ついて具体的に)例:外科、レントゲン科			
	従業者数		病床数		
	令和5年10月1日現在の当該 事業所の従業者数(パート等 臨時従業員及び役員等を含 む)		令和5年10月1日現在の病床数		
	万 千 百 十 一		万 千 百 十 一		
		人		床	

次へ

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の1年間に産業
廃棄物等は発生しましたか。

※自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他社に売却した物又は回収された
ものも対象としてください。(右の【記入上の注意】参照)

該当する番号に ○を付けてください。	1. 発生した。	2. 発生しなかった。	次へ
-----------------------	----------	-------------	----

返信用封筒にて提出

※「事業所の概要」欄のみ記入
し、返送してください。

次へ

右の【記入上の注意】を参照の上、「調査票(その2)」に貴事業所から発生した廃棄物等の処
理状況について記入してください(別紙、「記入例」も参照)。

「調査票(その1)及び(その2)」

● この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した産業廃棄物だけが記入の対象になりま
す。調査票が送付された事業所から離れた場所に本院や分院等があっても、それらは調査の対
象とはなりません。

● 事務所ごみや厨芥類等の事業系一般廃棄物については、記入の必要はありません。

● 自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他者に売却した物又は回収された物も対象とします。

「調査票(その2)」

● 記入欄が不足と思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。

● 産業廃棄物等の発生と処理状況を設問①～⑭までの流れに従って、設問ごとの説明を参考にご
記入ください。また、別紙で「調査票(その2)」の記入例が同封してありますので参考にしてくだ
さい。

● 同じ廃棄物でも、中間処理方法や処分先がいくつもある場合は、行を分けて記入してください。
(記入例のB、Eを参照)

● 令和6年3月31日(年度末)時点で、保管中でも処分先が確定している場合は処理したものとして
扱い、処分先が確定していない場合には⑧にて「E. 保管」を選択して下さい。

＜発生量について＞

● 廃油(食用油等)について
・ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本＝200リットル として換算してください。
・一斗缶の本数で把握されている場合は、1本＝18リットル として換算してください。

● 発生した「廃棄物等の種類(①及び②)」と「③年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理
を行う前のものをお答えください。

ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。

1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合
→ 中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。
2. 含油廃水を油水分離した場合
→ 油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。

● 発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

[illegible]

医療関係

例Aから例Fまで、参考事例を示しております。
この事例及びマニフェスト伝票を参考にして調査票(その
2)を記入してください。

●本調査の対象廃棄物は、以下に示すものです。

- ・貴事業所で発生した産業廃棄物
- ・自ら再生利用した物、自社で処理を行わず他社に売却した物又は回収された物も対象とします。

なお、事務所ごみや厨芥類等の事業系一般廃棄物については対象外です。

●記入欄が不足すると思われる場合は、あらかじめ用紙をコピーして、記入してください。

●廃油(食用油等)について

- ・ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本＝200リットル
- ・一斗缶の本数で把握されている場合は、1本＝18リットルとして換算してください。

●発生した「廃棄物等の種類(①及び②)」と「③年間発生量」には、「脱水」や「焼却」等の中間処理を行う前のものお答えください。

ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。

1. 廃酸、廃アルカリを公共用水域(河川、公共下水道等)への放流を目的として中和処理した場合
→中和処理後の「汚泥」を発生量としてください。
2. 含油廃水を油水分離した場合
→油水分離後の「廃油」と「汚泥」等を発生量としてください。

●発生量等の単位は、できるだけトンでご記入ください。

入院患者の給食に使用した食用油が毎月一斗缶で5本程度発生している。
年間の発生量は1,080リットルである(18リットル×5本×12ヶ月分)。
(株)△△に収集運搬を委託し、長野市に処理施設を保有する〇〇油脂(株)に焼却処理してもらった。
焼却後の燃え殻は10kgとなっており、埋立処分(県内)しているとのことである。

レントゲンフィルム(廃プラスチック)が
年間で4トン発生している。
その都度、自社の焼却炉で焼却して
いる。
焼却後の燃え殻0.1トンは、佐久市に
ある△△(株)に埋立処分を委託している。
残りのばいじん0.02トンは、上松町に
ある(株)○○環境に埋立処分を委託し
ている。

レントゲン定着廃液が年間400kg発生し、定期的に取りに来る新潟県の〇〇㈱に売却している。

〇〇㈱では、廃液から銀を回収しているようである。

レントゲン現像廃液も年間300kg発生し、同業者に処理を委託しており、業者で中和処理を実施している。中和処理で発生した汚泥20kgは、別の処分業者に処理を再委託している。

非感染性の廃プラスチックが年間で10トン発生した。伊那市内にある(株)〇〇産業に処理を委託し、焼却施設で中間処理後、焼却灰0.2トンを別の処理業者に埋立処分(県外)を委託している。

金属容器ごみが年間で30トン発生した。
そのうち10トンは、佐久穂町の□□鉄鋼(株)に売却し、鉄鋼材料として再生利用している。
残りの20トンは、岐阜県の処分業者(有)△△産業に処理を委託した。(有)△△産業では破砕処理後、自社の埋立処分場(県外)に埋め立てている。

感染性廃棄物が年間に300
リットル発生し、自社で滅菌処理し
ている。
処理後物は、長野市内の
(株)□□に処理を委託してい
る。
(株)□□では、すべて焼却処
理し、処理後の焼却灰10kg
は自社の埋立処分場(県内)

委託先で中間処理(⑧でF～Wの場合)された後の処理状況を記入してください。

[illegible]

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認し記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

【廃棄物等分類番号表】

1 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く。）

種 類		分類番号	具体例
燃え殻	燃え殻	0100	石炭殻、コークス灰、重油灰、木灰、木炭灰、炉掃出物、煙道・煙突に付着推積したすす、クリンカなど 【注：可燃ごみなど自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。】
	水銀含有燃え殻	6603	水銀を15mg/kgを超えて含有する燃え殻
汚 泥	有機性汚泥	0210	排水処理汚泥、製紙汚泥、活性汚泥（余剰汚泥）、ビルピット汚泥（し尿を含むものは除く）、染色废水处理汚泥、クリーニング废水处理汚泥（水洗を主とする場合）、下水汚泥など
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場废水处理汚泥、窯業废水处理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、上水汚泥、道路側溝汚泥など
	水銀含有汚泥	6724	水銀を15mg/kgを超えて含有する汚泥
廃 油	一般廃油（鉱物油）	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油、潤滑油、燃料など
	一般廃油（動植物油）	0312	魚油、鯨油、ヘット、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油など
	その他の廃油	0390	一般廃油に分類されない廃溶剤（アルコール類、ケトン、洗浄油など）、固形油（アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろうなど）、油でい（油分の含有量が5％以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの）、油付着物（油のしみたウエス、油紙くずなど）など
廃 酸	廃 酸	0400	フッ酸、クロム酸、リン酸、フッ化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄廃液、エッチング廃液、染色酸性廃液（漂白浸せき工程、染色工程）、クロメート廃液、硫酸ピッチ、写真定着廃液、ギ酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液など
	水銀含有廃酸	6804	水銀を15mg/kgを超えて含有する廃酸
廃アルカリ	廃アルカリ	0500	アルカリ性洗浄廃液、液洗びん用廃アルカリ、石灰廃液、廃灰汁、アルカリ性メッキ廃液、金属せっけん廃液、ドロマイト廃液、染色廃水（精錬工程、シルケット加工）、黒液（チップ蒸解廃液）、脱脂廃液（金属表面処理）、硫化ソーダ廃液、写真現像廃液など
	水銀含有廃アルカリ	6903	水銀を15mg/kgを超えて含有する廃アルカリ
廃プラスチック類	廃プラスチック類	0610	合成繊維（ナイロン繊維、ポリエステル繊維、化学繊維など）、FRP（繊維強化プラスチック、FRP廃船など）、熱可塑性プラスチック（ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂など）、熱硬化性樹脂（フェノール樹脂（ベークライト）、ユリア樹脂など）、プラスチック製品くず（塗料かす（固形）、エナメルかす、フィルム、発泡スチロール、ビニールシート、塩ビ管など）、合成ゴム（パッキンくず、ライニングくずなど）、廃タイヤなど
紙くず	紙くず	0700	紙・紙加工品製造業、製本業等から排出される紙くず
	木くず	0801	木材・木製品製造業、パルプ製造業等から排出される木くず
木くず	その他の木くず	0802	パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材
繊維くず	繊維くず	0900	建設業、繊維製品製造業から排出される繊維くず 【注：合成繊維は廃プラ類に該当します。】
動植物性残さ	動物性残さ	1001	食料品製造業、医薬品製造業又は綱領製造業に係る魚・獣の骨、魚・獣の皮、内臓等のあら、皮革くず、ボイルかす、うらごしかす、缶づめ・瓶づめの不良品、乳製品精製残渣、卵から、貝がら、羽毛など
	植物性残さ	1002	食料品製造業、医薬品製造業又は綱領製造業に係るソースかす、醬油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす等の発酵・醸造かす、あめかす、糊かす、でんぶんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良豆、果物の皮、種子、野菜くず、薬草かす、油かす、パンくず、原料くずなど
動物系固形不要物	動物系固形不要物	4000	と畜場にて排出された牛、豚・食鳥等の不可食部分等の不要物
ゴムくず	ゴムくず	1100	天然ゴムくず（ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム版くずなど） 【注：合成ゴムは廃プラ類に該当します。】
金属くず	金属くず	1200	切粉、ショットブラスト（金属のみがきに使用したものに限る）、スクラップ、ブリキくず、トタンくず、空き缶、銅くず、アルミくずなど
	ガラスくず	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、薬品ビンなど
	陶磁器くず	1302	セラミックくず、れんが、かわら、土管、陶管、タイル、陶器、コンクリート製品くず、モルタルハヅリくずなど
	石膏ボード	1303	石膏ボードくず
	コンクリートくず（がれき類を除く）	1304	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、コンクリート塊、残コン、生コンクリート、戻りコンクリート、製品不良品、セメント瓦のくず、セメント製品くずなど
鉱さい	鉱さい	1400	廃砂（鑄物砂、サンドブラスト廃砂など）、炉さい（高炉水さい、高炉の残さ、平炉の残さ、転炉の残さ、電気炉の残さ、キューボラのノロ、ドロス、カラミなど）、鉱さい類（不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石くずなど）
	水銀含有鉱さい	7004	水銀を15mg/kgを超えて含有する鉱さい

【廃棄物等分類番号表】

1 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く。）

がれき類（工 作物の除去 に伴って生じ た物に限る）	がれき類	1500	コンクリート破片、コンクリートブロック破片、アスファルトコンクリートの破片、鉄道用路線の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材など
動物のふん尿	動物のふん尿	1600	畜産農業から排出される動物のふん尿
動物の死体	動物の死体	1700	畜産農業から排出される動物の死体
	ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダストなど
その他	水銀含有ばいじん	6502	水銀を15mg/kgを超えて含有するばいじん
	建設混合廃棄物	1540	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
	石綿含有産業廃棄物	1308	アスベスト成形板（アスベストの含有量が1％を超えるスレート板、パーライト板、石綿セメント円筒など）
	水銀使用産業廃棄物	6417	水銀使用蛍光管、水銀使用医薬品・農業、水銀回収義務付け品、その他水銀使用産業廃棄物
	その他一体不可分な物	2300	シュレッターダスト、廃機械器具（家電リサイクル法対象機器を除く）、廃バッテリー等

2 特別管理産業廃棄物

種 類		分類番号	具体例
引火性廃油		0308	揮発油類（ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど）
腐食性廃酸		0408	pH2.0以下の廃液
腐食性廃アルカリ		0508	pH12.5以上の廃液
感染性廃棄物		8009	医療機関等において生じた、感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物であって汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等であるもの（血液、血液製剤、血液等が付着した手術用手袋、使用済みの注射器・注射針、メス、実験・検査に使用した培地、脱脂綿など）
特定有害産業廃棄物	廃PCB等	7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物
	廃水銀等	5108	特定施設において生じた廃水銀等
	廃石綿等	2009	吹き付け石綿、石綿含有保温材大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
	指定下水汚泥	7422	指定有害物質を含む下水汚泥
	鉱さい	1409	有害物質の判定基準を超えるもの
	燃え殻	0109	有害物質の判定基準を超えるもの
	汚泥	0209	有害物質の判定基準を超えるもの
	廃油	0309	有害物質の判定基準を超えるもの
	廃酸	0409	有害物質の判定基準を超えるもの
	廃アルカリ	0509	有害物質の判定基準を超えるもの
	ばいじん	1809	有害物質の判定基準を超えるもの

【地域番号表】

処理、処分、再生場所長野県内の場合

市町村名		番号	市町村名		番号
佐久地域	小諸市、佐久市 南佐久郡 小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、 南相木村、北相木村 北佐久郡 軽井沢町、御代田町、立科町	01	木曽地域	木曽郡 上松町、南木曽町、木曽町、木祖村 王滝村、大桑村	06
	上小地域	02	松本地域	松本市、塩尻市、安曇野市 東筑摩郡 麻績村、生坂村、山形村、朝日村、 筑北村	07
諏訪地域	岡谷市、諏訪市、茅野市 諏訪郡 下諏訪町、富士見町、原村	03	大北地域	大町市 北安曇郡 池田町、松川村、白馬村、小谷村	08
上伊那地域	伊那市、駒ヶ根市 上伊那郡 辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、 中川村、宮田村	04	長野地域	長野市、須坂市、千曲市 埴科郡 坂城町 上高井郡 小布施町、高山村 上水内郡 信濃町、飯綱町、小川村	09
飯伊地域	飯田市 下伊那郡 松川町、高森町、阿南町、阿智村、 平谷村、根羽村、下條村、売木村、 天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、 大鹿村	05		北信地域	中野市、飯山市、 下高井郡 山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、 下水内郡 栄村

処理、処分、再生場所長野県外の場合

[illegible]